

## 以下のとおり保存樹木を指定する

1.所在地 札幌市南区真駒内緑町 4-1

2.樹種 カシワ

3.本数 1本

4.指定の理由

この樹木は、由緒由来があつて地域住民に親しまれており、大きさも指定基準以上である。

# 保存樹木の指定について

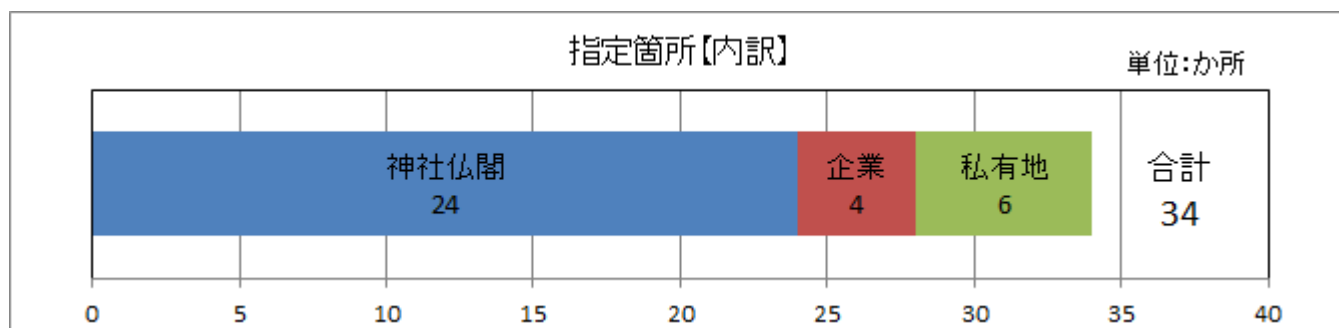
札幌市南区真駒内緑町4-1 五輪団地駐車場・カシワ

# 保存樹木について

- 「都市の美観風致を維持するための樹木の保存に関する法律（昭和37年施行）」及び「札幌市緑の保全と創出に関する条例（平成13年施行）」によって、樹木又は並木であって、由緒由来のあるもの、学術的価値の高いもの、又は美観風致を維持するため必要なものを保存樹木又は保存並木として指定している。

# 現在の指定状況について

- 法律による指定状況  
指定箇所20か所、樹木45本、樹林約3.5ha
- 条例による指定状況  
指定箇所14か所、樹木15本、樹林約8.8ha
- 合計 指定箇所34か所、樹木60本、樹林約12.2ha



- この指定にあたって、条例第24条2項により札幌市緑の審議会の意見をうかがうものである。

# 保存樹木の指定基準(1)

## 札幌市緑の保全と創出に関する条例

### 第24条

市長は、樹木又は並木であって、由緒由来のあるもの、学術的価値の高いもの又は美観風致を維持するため必要なものを、保存樹木又は保存並木(以下「保存樹木等」という。)として指定することができる。

# 保存樹木の指定基準(2)

## 札幌市保存樹木等取扱要領

### 第2条

1. 由緒由来があって地域住民に親しまれている樹木
2. 学術的価値の高い樹木
3. 都市の美観風致に寄与する、次のいずれかの規模以上の樹木
  - (1) 樹木1.5メートルの高さにおける幹の周囲が1.5メートル以上であること
  - (2) 高さが15メートル以上であること
  - (3) 株立ちした樹木は、高さが3メートル以上であること

# 候補樹木位置図



住所：  
札幌市南区真駒  
内緑町  
4-1  
真駒内五輪団地  
駐車場内

# 候補樹木について

- 樹種  
カシワ
- 推定樹齡  
200年
- 所在地  
南区真駒内緑町4丁目1番  
五輪団地駐車場内
- 大きさ  
高さ17m 幹周2.9m  
枝張り14m × 14m



H26.6月撮影



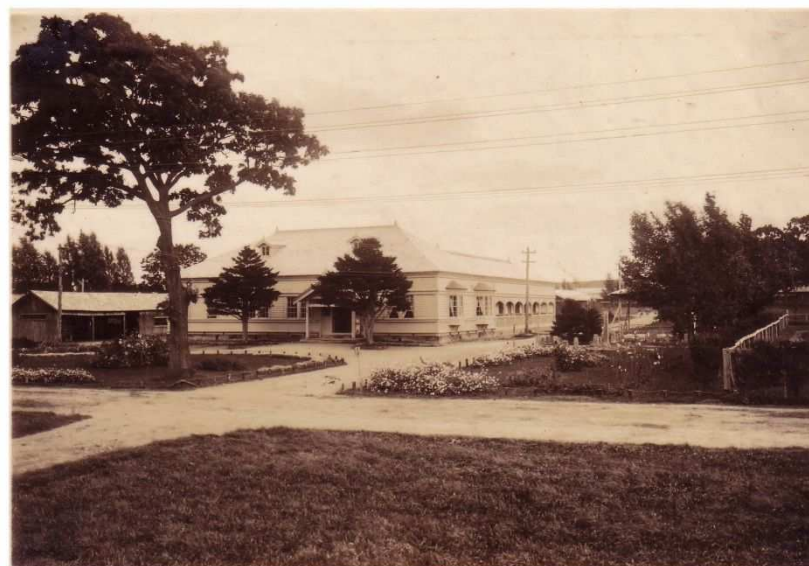
# 由緒由来

## 1.カシワ周囲の歴史環境

真駒内の開拓前(明治9年以前)からこの地に自生しており、カシワが位置する場所が放牛場、種畜場を経て、駐車場となった現在も奇跡的にこの地に残っている巨木である。

## 2.現状及び団地住民の意識

- ・現在、団地住民の意識は高く、「五輪団地のシンボル」と称される。
- ・真駒内五輪団地自治会長の話では団地住民皆で管理していくことは十分可能である。



当時の種畜場の様子

# 由緒由来(参考)

暑い夏の日、札幌でひととき大きな濃い陰をつくっている木がある。地下鉄真駒内駅前の五輪団地のまん中にあるカシワの木だ。1876年、札幌の南、真駒内がお雇い外国人のエドウィン・ダンによって開拓され、その後、牧牛場、種畜場となったところからあった木だ。

私が団地に入居した30年前に大カシワは、確か3本あったと記憶する。その後、500台余の駐車場を造る際に、2本は伐採された。その駐車場も高齢化で車を手放す人が増え、今は空きが目立つ。月日は移ろうが、真夏にこのカシワがつくる大きな木陰は変わらない。その下にたたずめば、真駒内の歴史が涼風となって流れていく。

## 一本のカシワの木

谷代 久恵



卓食の朝

敗戦後、種畜場は進駐軍に接收されて基地となり、その家族が住むアメリカ村では緑の芝生に白い洋風建築が並んでいた。「定山溪鉄道の車窓から見て憧れたわ」という世代も団地にいる。返還された後、冬季オリンピックの選手村として団地が建設されて、現在に至っている。

五輪団地に1本だけ残ったカシワ。周囲3層、高さ25層、真冬には寒風にさらされてザワッザワッと音を立てる枯れたひと塊の葉は、春までしっかり残って新緑の栄養となる。百年有余の月日を見てきた老木は「長生きできて私はとても満足だよ」と、団地の住人にゆったりと語りかけているよ  
うだ。

(兼業主婦・札幌)

# 樹木診断結果

- 樹勢診断: 良好。
- 外観診断: 腐朽部がある枝は剪定除去が望ましい。
- 総合判定: やや注意  
枯枝の剪定除去が望ましい。



平成26年6月撮影



# 現在の状況



平成26年6月撮影